

近年ライフワークの一環としてアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる金子さん。金子さんを駆り立てるものは何かを聞きました。

Q 日本でのアウトリーチ活動のきっかけは何ですか？

僕が育ってきたヨーロッパ、その中でもハンガリーの音楽家の活動の中には、必ずアウトリーチがありました。プロの音楽家になればいろいろな施設にこちらから出向き、子どもたちをはじめとていろいろな方々に音楽を届けていく、こういう活動は当然すべきことだと思っていました。ところが、日本でプロとしてデビューし、演奏活動をしていく中で、全くそういう機会がなく「なぜだろう」と違和感を覚えました。そんな折に、一般財団法人地域創造^{*}のアウトリーチ事業という、日本全国の小学校をはじめとする施設への訪問型コンサートと公共ホールの音楽事業活性化のプロジェクトがあることを知って、ぜひ参加してみたいと思いました。僕が探し求めていたアウトリーチ活動がこの事業を通してならできるのではないかと思ったんです。その後、登録アーティストになるためのオーディションを受け、研修生の期間を経てアウトリーチの現場に行くようになり、日本各地で施設訪問型コンサートの経験も積んできました。こうして自分が生まれた国である日本でアウトリーチ活動をするようになって、社会のために役立つのはうれしく感じていますし、これからもライフワークとして続けていきたいと思っています。

Q ハンガリーのアウトリーチ活動はどのようなものでしたか？

意外に思われるかもしれませんが、

実は初めてアウトリーチ活動に参加したのはピアノではなかったんです。ハンガリーには、子どもたちに早くから音楽を教えていく音楽小学校が数百校あります。その一つに通っていた時、ピアノを専攻していましたが、もう一つ副科専攻として打楽器、パーカッションをずっとやっていました。これは偶然なんですけど、その学校のパーカッションの先生は、パーカッション奏者を大勢集めてオーケストラのように演奏するパーカッション・アンサンブルという企画を長年に渡り取り組んでいました。それでツアーを組んだりして、ハンガリーでは名の知られている人でした。その先生の所に弟子入りして、小学生だけで組んだパーカッション・アンサンブルを結成して、10人、12人ぐらいの子どものチームで全国各地をツアーで回って演奏していました。パーカッションは組立てができるので、全部バラバラにしてそれを先生が借りてきたトラックに載せて運んで行く。我々はバスでそれを追いかけて行くみたいな感じでツアーをしていたんです。その中に必ず、半分ぐらいは施設訪問があって、本当にいろいろな現場を回りました。すごく穏やかな小学校のアウトリーチもあれば、かなりシビアな現場、余命宣告された方々のホスピスのような所も訪問し、こういう方々にどのように音楽を届けるのかなど、子どもながらにいろいろと感じるものがありました。こういった場面に立会うことができたのは、今考えるとすごい財産ですね。

Q アウトリーチ活動で子どもたちに伝えたいことは？

大きく二つあって、一つはプロフェッショナルと言われている、私の場合

はピアニストですが、役者さんだったり、スポーツ選手だったり、あるいは何かの職人でプロフェッショナルな方はたくさんいますよね、こういった方が子どもたちの前で自分の本業を見せたり、語ったり、あるいはどういう思いで日々過ごしているのかを話せば、子どもたちってすごく素直なので、いろいろなことを感じて考えてもらえるんじゃないかなと思っています。プロフェッショナルの方って、なかなか触れたくても触れられない。実は身近にいたりしますが、身近にいればいるほど、プロを見る目で接するのが難しい。学校の先生も一人のプロフェッショナルですが、日々接していると相手がプロだという意識が抜けていくんですよ。そこで、プロとはこういうものなんですと見せてあげる。こういう思いで、例えば音楽家なら音楽を日々発信しているんですと伝える。そういうのを生で体験すると、子どもたちの心に何か残るものがあると思うんですね。プロフェッショナルの方に触れる機会、これは大事かなと思います。

もう一つは、なるべく子どもの頃から、あるいは若い時に、しっかりと人生の目標というか将来どういうことをやりたいのか、夢をもって、目標をもって、そこに向かって人生を歩んでいく、人生設計がきちんと出来ていることがこれからの時代大切になっていくのかなって気がします。時代に流されて、あるいは周りに流されて、なんとなく学校生活を過ごし、なんとなく何かを勉強し、でも気付いたら高校生になり、大学生になり、社会人になっても、それでもいま自分ってどういう人間なのか、何をすべきなのか、それが分からないとすごく不安を抱えてしまうと思うんです。昨今、望ましくないニュースも耳にしますが、何かそういうネガティブな力が働く社会では

^{*}平成6年(1994)に、文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として設立された財団。地方団体の要請に応じて、文化・芸術に関わる人材育成や各種支援事業などを展開している。

金子三勇士さん Profile

日本を代表する新進気鋭のピアニストの一人。日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれ、6歳で単身ハンガリーに渡る。バルトーク音楽小学校に通い、ハンガリーピアノコンクール(9歳から11歳の部)での優勝を経て、飛び級で国立リスト音楽院大学に入学する。現地での課程修了後、16歳で日本に帰国し、東京音楽大学付属高等学校2年に編入し、同大学を首席で卒業する。

小さい頃から負けず嫌いで、勉強に関して、常にトップを走っていた。ただ、体育が少し苦手。ハンガリーでの小学生時代は、祖父母とともに山奥に住んでおり、小動物も友達だった。

MIYUJI KANEKO OFFICIAL WEBSITE (<https://miyuji.jp>)

